

資料4 市民アンケート結果

1 調査の概要

(1) 調査対象及び抽出方法

- ① 地域 舞鶴市全域
- ② 対象 市内在住の満20歳以上の男女個人
- ③ 対象者数 2,000人
- ④ 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出

(2) 調査方法

調査票を郵送にて配布・回収
 期間：平成27年7月21日～8月3日

(3) 回収結果

アンケート名	配布数	有効回答数	有効回収率
H27年度アンケート（本調査）	2,000	647	32.4%
【参考】平成20年度アンケート	2,000	879	44.0%

(4) その他

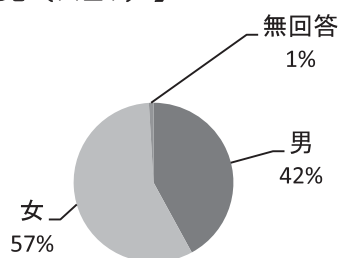
- ・比率は全てパーセントで表しており、集計上の端数処理のため、合計値が100%にならない場合があります。
- ・本資料の見出し及び回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。

2 回答者属性

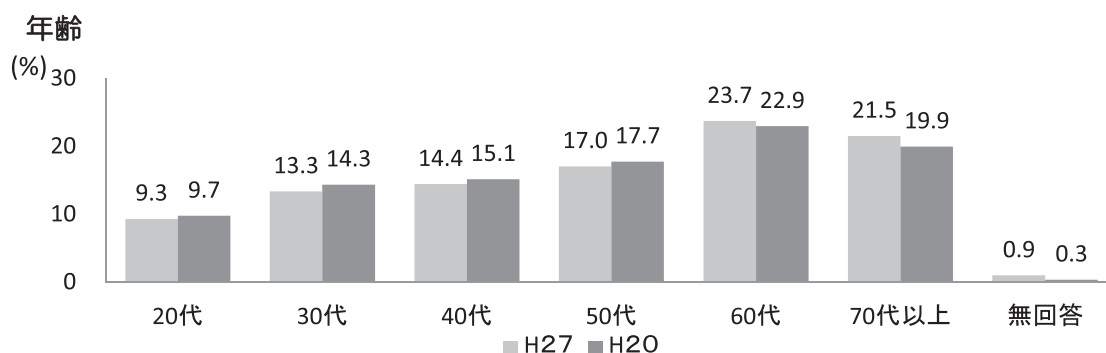
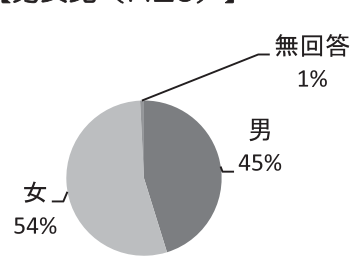
(1) 性別・年齢

- ◆回答者の性別は、男性42%、女性57%であり、女性が15%多くなっています。
- ◆年齢は60代が23.7%と最も多く、次いで70代（21.5%）、50代（17.0%）となっています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、大きな変化は見られません。

【男女比（H27）】

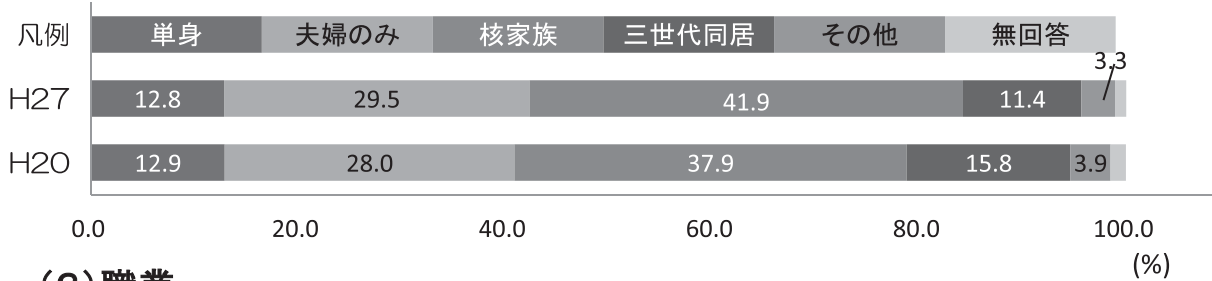


＜参考＞【男女比（H20）】



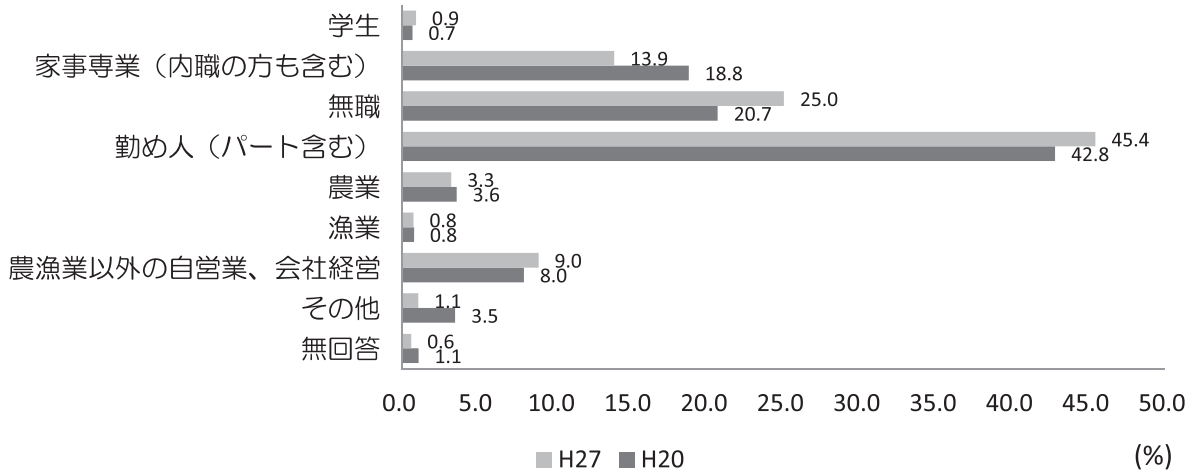
(2) 世帯型

- ◆回答者の世帯型は、核家族（親と子ども）が41.9%と最も多く、次いで夫婦のみ（29.5%）、単身（12.8%）となっています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、大きな変化は見られません。



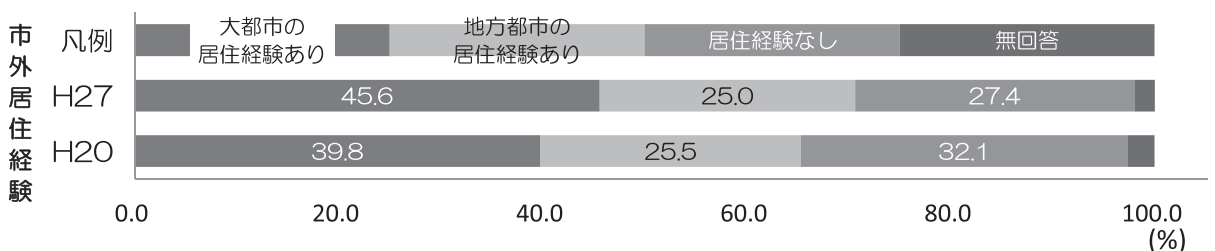
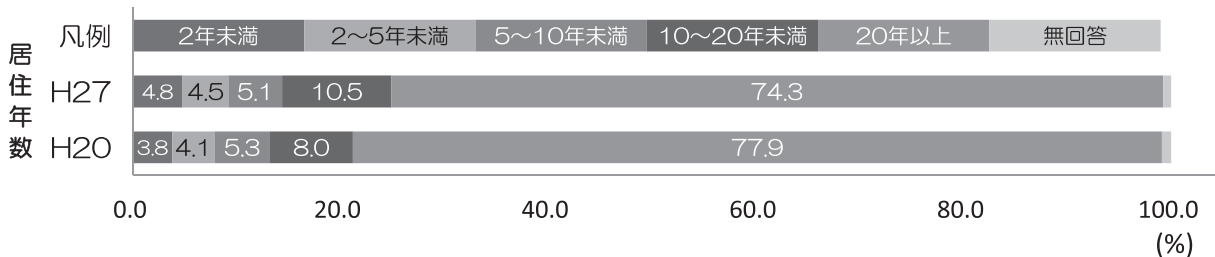
(3) 職業

- ◆回答者の職業は、勤め人（パート含む）が45.4%と最も多くなっており、次いで無職（25.0%）、家事専業（内職の方も含む）（13.9%）となっています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、大きな変化は見られません。



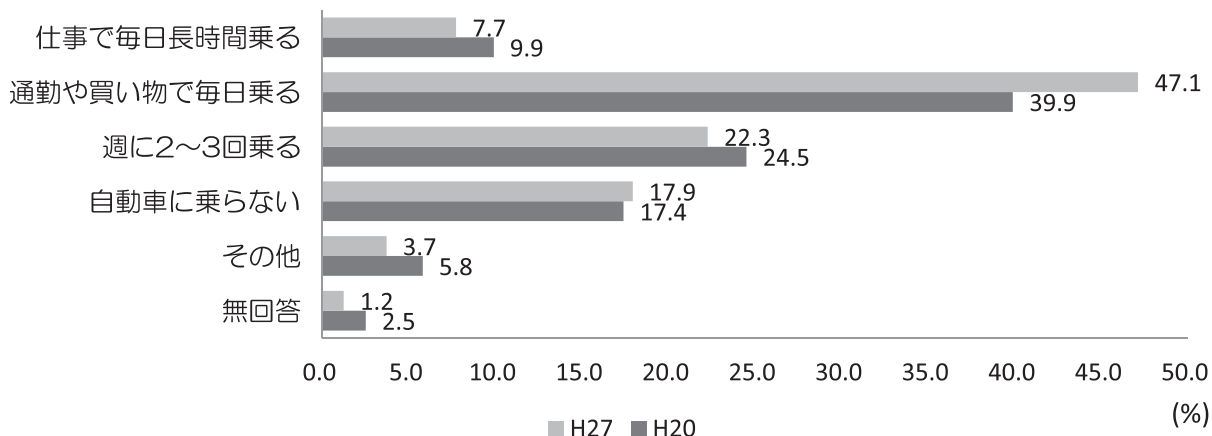
(4) 居住年数・市外居住経験

- ◆回答者の舞鶴市での居住年数は「20年以上」が74.3%と最も高くなっており、次いで「10～20年未満」（10.5%）となっています。
- ◆回答者の舞鶴市以外での居住経験は「大都市の居住経験あり」が45.6%と最も多くなっており、次いで「居住経験なし」（27.4%）となっています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、大きな変化は見られません。



(5) 自動車の利用頻度

- ◆回答者の自動車の利用頻度は、「通勤や買い物で毎日乗る」が47.1%と最も多く、次いで「週に2~3回乗る」(22.3%)、「自動車に乗らない」(17.9%)となっています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、大きな変化は見られません。



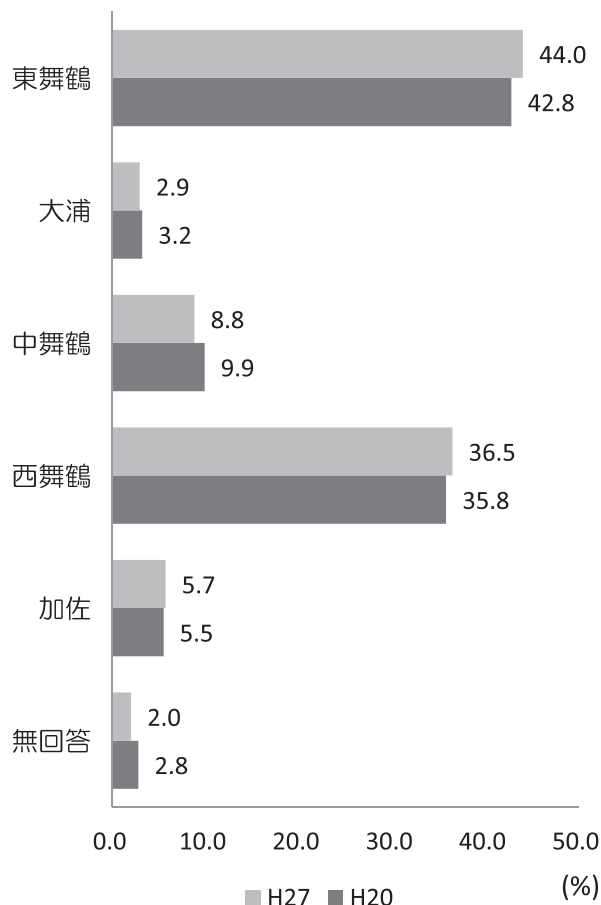
(6) 居住地域

- ◆回答者の居住地域は、東舞鶴（うち新舞鶴校区が最多）が44.0%と最も多く、次いで西舞鶴（うち中筋校区が最多）が36.5%、中舞鶴が8.8%となっています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、大きな変化は見られません。

【地域分類別回答数】

地域分類	小学校区	計		割合	
		H27	H20	H27	H20
東舞鶴	新舞鶴	94	111	14.5	12.6
	三笠	24	47	3.7	5.3
	倉梯	47	68	7.3	7.7
	倉梯第二	29	50	4.5	5.7
	与保呂	33	32	5.1	3.6
	志楽	40	44	6.2	5.0
	朝来	18	24	2.8	2.7
	小計	285	376	44.0	42.8
大浦	大浦	19	28	2.9	3.2
	小計	19	28	2.9	3.2
中舞鶴	中舞鶴	57	87	8.8	9.9
	小計	57	87	8.8	9.9
西舞鶴	明倫	46	73	7.1	8.3
	吉原	12	11	1.9	1.3
	余内	43	80	6.7	9.1
	池内	11	10	1.7	1.1
	中筋	71	84	11.0	9.6
	福井	16	29	2.5	3.3
	高野	37	28	5.7	3.2
	小計	236	315	36.5	35.8
加佐	岡田	16	27	2.5	3.1
	由良川	21	21	3.3	2.4
	小計	37	48	5.7	5.5
その他	無回答	13	25	2.0	2.8
	小計	13	25	2.0	2.8
合計		647	879	100	100

【地域別回答者比率】



3 調査結果

(1) 身近な環境に対する満足度

[問]あなたは、次のような環境（次項グラフの①～⑪参照）について、どの程度満足していますか。また、その環境はここ10年間で変化したと思われますか。

【満足度】

◆満足度が高かった（「大変満足」「まあまあ満足」の合計値）項目は以下のとおり

⑥空気・大気のきれいさ	67.7%
⑦静けさ	65.9%
①舞鶴湾の美しさ	65.5%

◆一方、満足度が低かった（「やや不満」「大変不満」の合計値）項目は以下のとおり

⑤川の美しさ	33.7%
⑩身近な公園や広場	33.5%
⑪住まいの近くのきれいさ	30.8%

◆平成20年度アンケート結果と比べ、②自然と触れ合える場、③市街地の花と緑の項目を除いた全ての項目で満足度が上がっています。

【ここ10年の変化】

◆よくなっていると回答された項目は以下のとおり

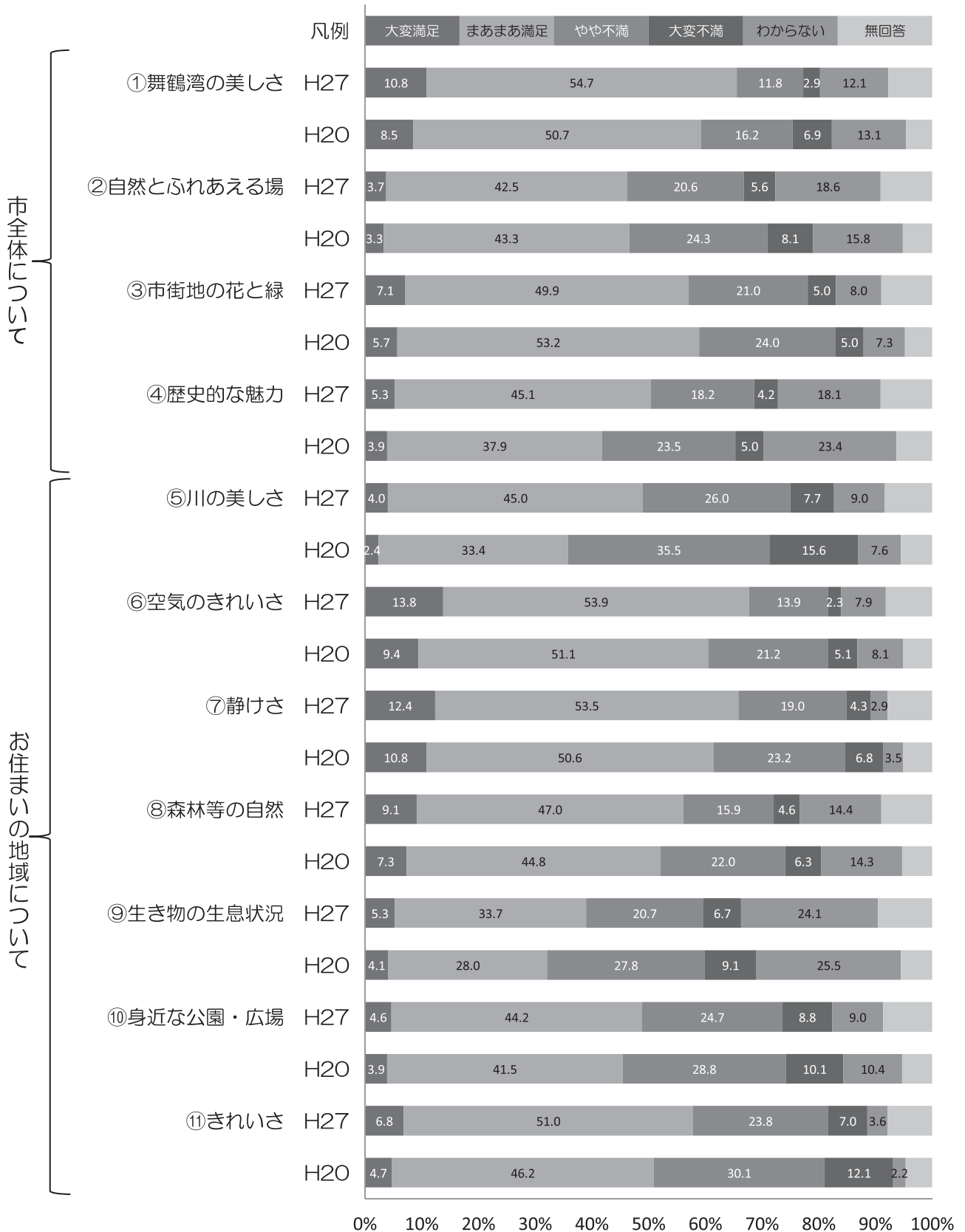
③市街地の花や緑	29.7%
②自然と触れ合える場	25.5%
④自然と調和のとれた歴史的な魅力	24.7%

◆一方、悪くなっていると回答された項目は以下のとおり

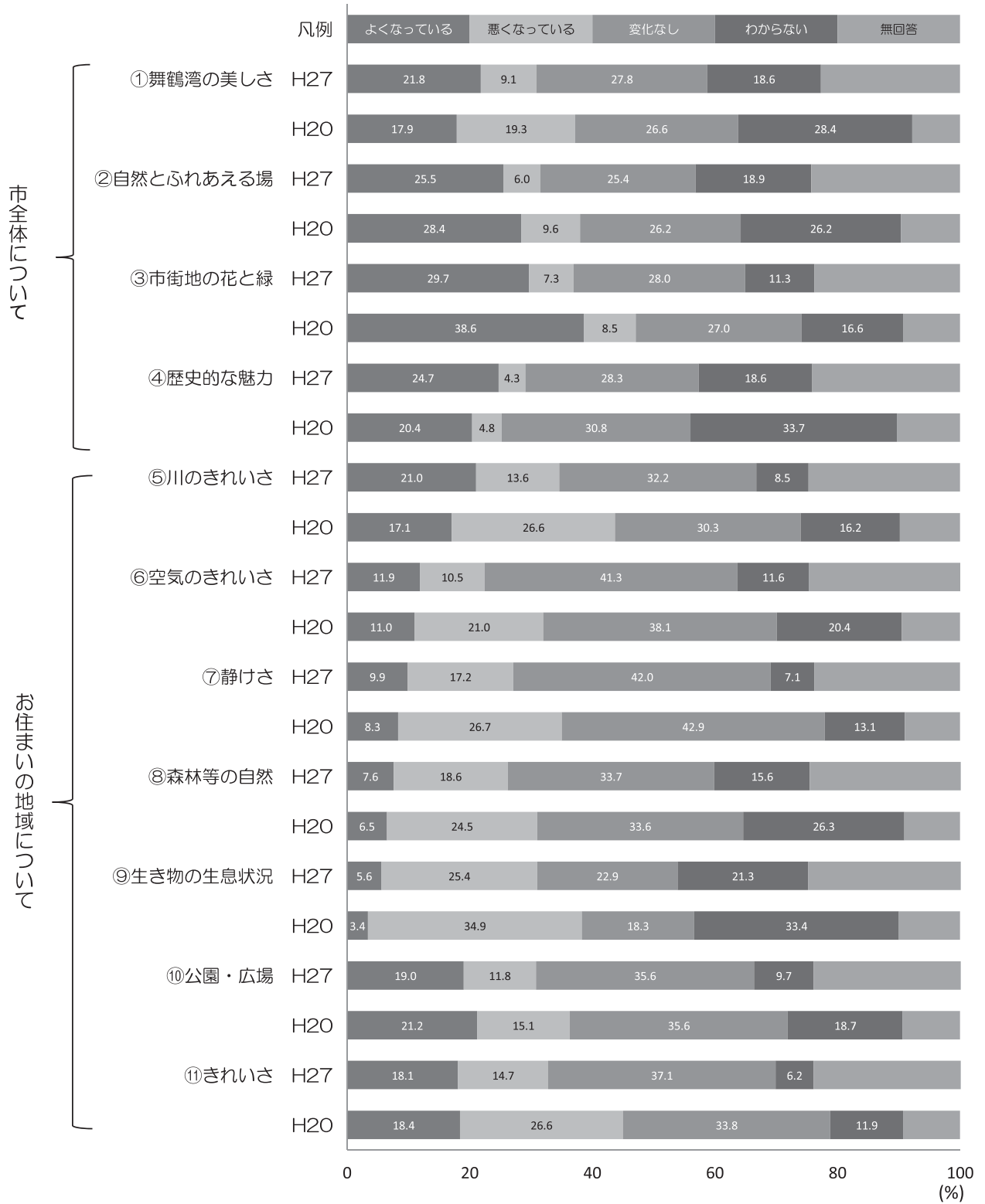
⑨多様な生き物の生息状況	25.4%
⑧森林や里山等の自然	18.6%
⑦静けさ	17.2%

◆平成20年度アンケート結果と比べ②自然と触れ得る場、③市街地の花や緑、⑩身近な公園や広場、⑪住まいの近くのきれいさ、を除く全ての項目で、「よくなっている」の割合が増えています。

【満足度】



【ここ10年間の変化】



(2)環境に配慮した生活の取り組み状況

[問]あなたは日常生活において、環境に関する工夫や努力をされていますか。

◆ 現在取り組んでいる人が多い項目は以下のとおり

- ⑧中身の詰め替えができる商品を選ぶ 86.6%
- ⑬天ぷら油や残飯等を排水口に流さない 84.5%
- ⑮節電（省エネ製品、LED照明の利用、エアコンの設定温度の調整等）に努める 83.5%

◆ 一方、現在取り組んでいない人が多い項目（「今後したいと思う」「あまり関心はない」の合計値）は以下のとおり

- ⑤環境家計簿を利用しCO₂排出量の見える化を図る 91.2%
- ⑯太陽熱温水器や太陽光電池パネルを設置する 87.1%
- ⑫コンポスト容器等を使い、生ごみの堆肥化に取り組む 82.9%

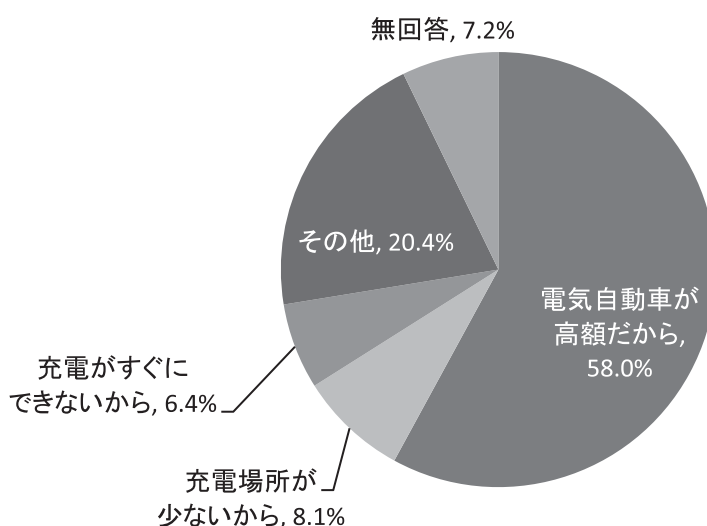
◆ 平成20年度アンケート結果と比べ、取り組んでいる人の割合について見られた主な変化は以下のとおり

項目	H20	H27	増減ポイント
⑧再利用容器商品の選択	76.7%	86.6%	9.9%
⑳道路・公園等の清掃	19.2%	25.4%	6.2%
㉑花木の育成	50.1%	56.3%	6.2%
⑰節水	53.9%	45.8%	-8.1%
⑱マイカー利用を控える	30.8%	23.3%	-7.5%

上記の項目以外について、大きな変化は見られませんでした。

<参考>

【自家用車に電気自動車(EV・PHV)を選ばない理由について】



【環境に配慮した生活の取り組み状況】



(3)環境に関する活動への参加状況

【①活動への参加状況】

[問]あなたは、環境に関する活動（リサイクル、緑化、自然保護、自然観察・調査・研究、海洋・河川の浄化、まちの美化等）に参加されていますか。

- ◆全体の68.8%にあたる445人が何らかの活動に参加しています。
- ◆最も参加の多い活動は「町内会・子供会・婦人会・老人会等の地域の活動」（47.1%）であり、次いで「募金等」（34.8%）でした。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、「募金等」への参加者が前回12.3%から今回は34.8%と、大きく増加しています。これは、複数回答が可能な本問において、平成20年度アンケートでは「募金等」のみ回答された方（他に参加している活動なし）を集計していたのに対し、今回は「募金等」を回答された方全て（他にも参加している活動がある方を含む）を集計しているためです。

【②参加している活動の内容】

[問]あなたが参加されている活動の内容はどのようなものですか。

- ◆最も参加の多い活動内容は「清掃活動」（65.8%）であり、次いで「3Rの取り組み」（13.9%）でした。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、「清掃活動」への参加者の割合が前回77.8%から今回は65.8%、「3Rの取り組み」への参加者の割合が前回25.1%から今回13.9%とそれぞれ減少しています。

【③活動へ参加している理由】

[問]活動に参加されているのはなぜですか。

- ◆活動へ参加している理由として最も多いのは「地域の割り当てだから」（66.1%）であり、次いで「環境問題を解決するには、一人ひとりが責任を持って行動すべきだから」（35.2%）でした。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、「地域の割り当てだから」が前回50.7%から今回66.1%と増加し、また、「環境問題を解決するには、一人ひとりが責任を持って行動すべきだから」が前回46.4%から今回35.2%と減少しています。

【④現在参加している人の他の活動への参加意向】

[問]今後、他の環境に関する活動にも参加したいと思われませんか。

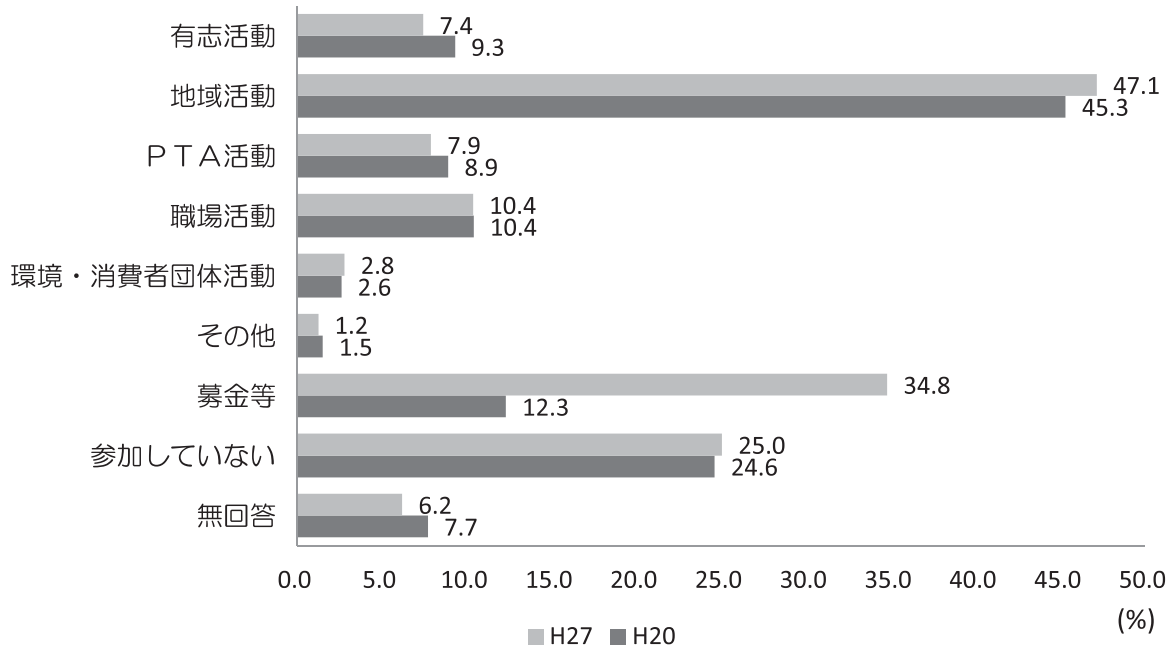
- ◆他の環境に関する活動について、「参加したい」と思う人の割合は46.3%であり、「参加したくない」の25.7%より20%ほど多くなっています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、「参加したい」と思う人の割合が前回62.4%から今回46.3%と、減少しています。

【⑤現在参加していない人の他の活動への参加意向】

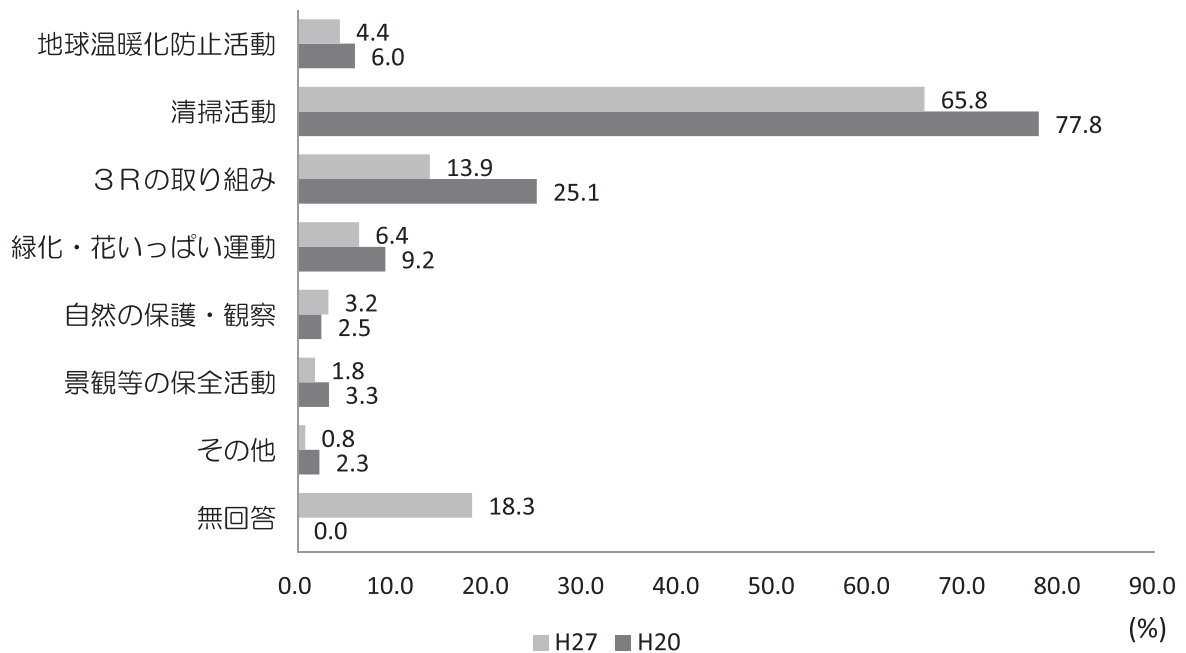
[問]今後、環境に関する活動にも参加したいと思われませんか。

- ◆今後、環境に関する活動について、「参加したい」と思う人の割合は45.0%であり、「参加したくない」と思う人の割合（38.0%）より7%多くなっています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、大きな変化は見られません。

【①活動への参加状況】 <複数回答>

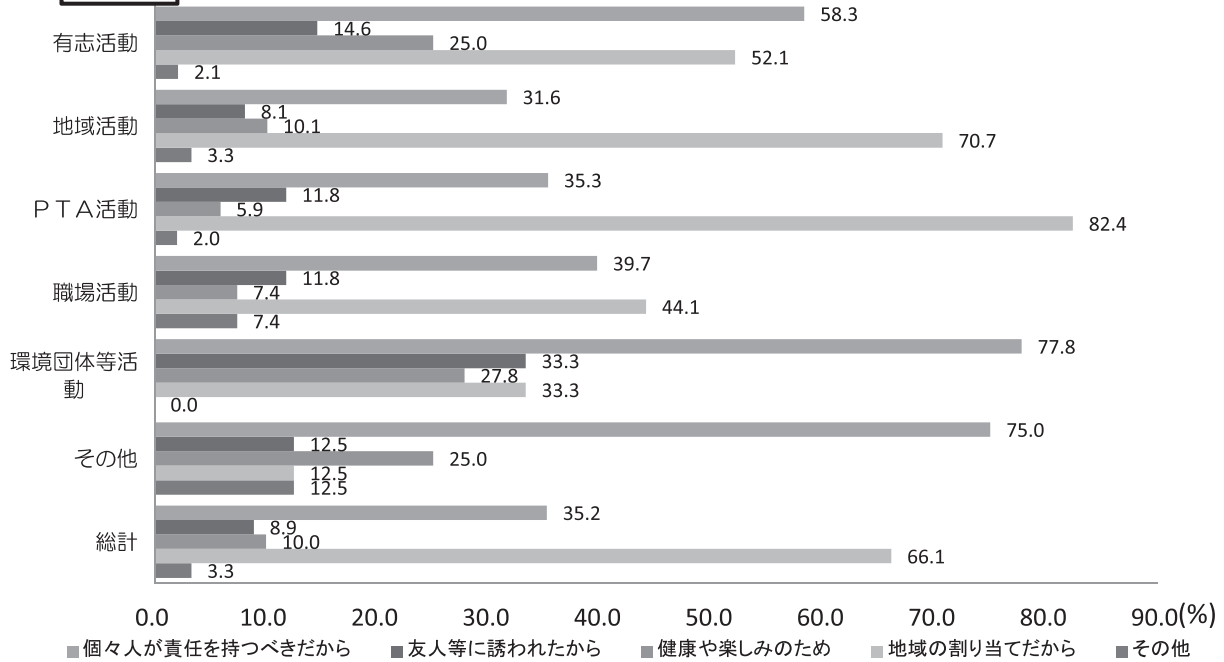


【②参加している活動の内容】 <複数回答>

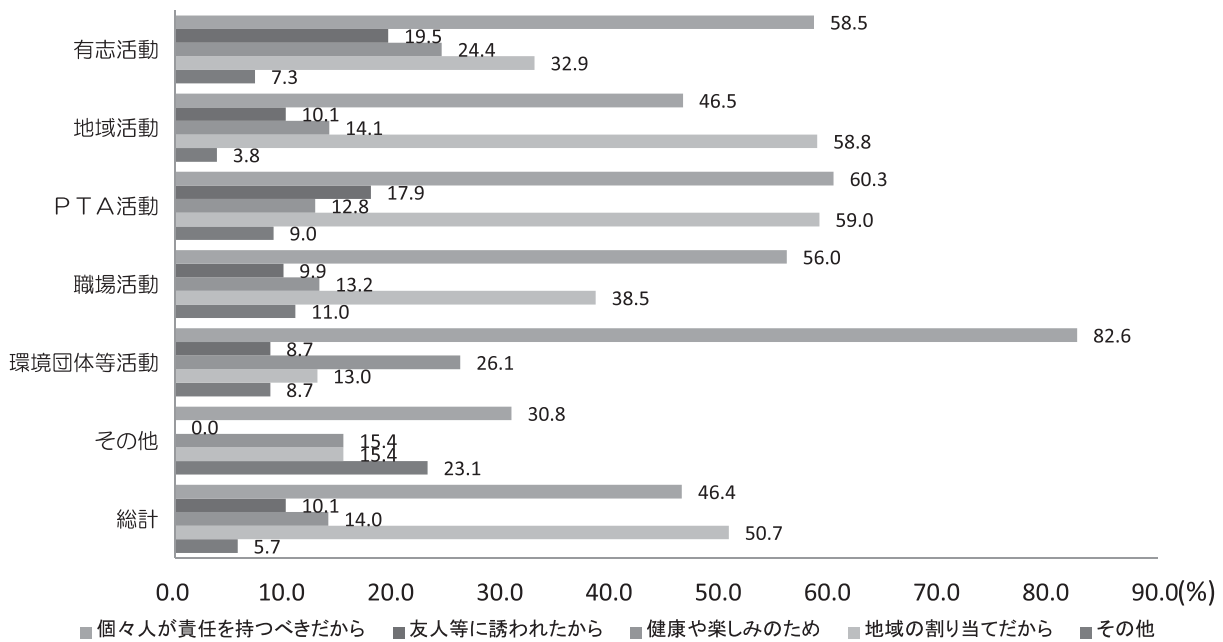


【③活動へ参加している理由】 <複数回答>

H27

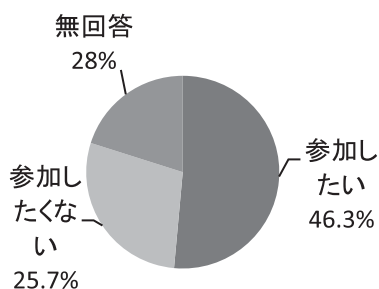


<参考>H20

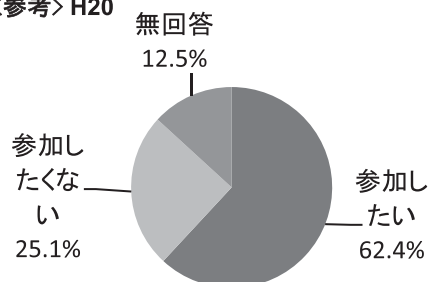


【④現在参加している人の他の活動への参加意向】

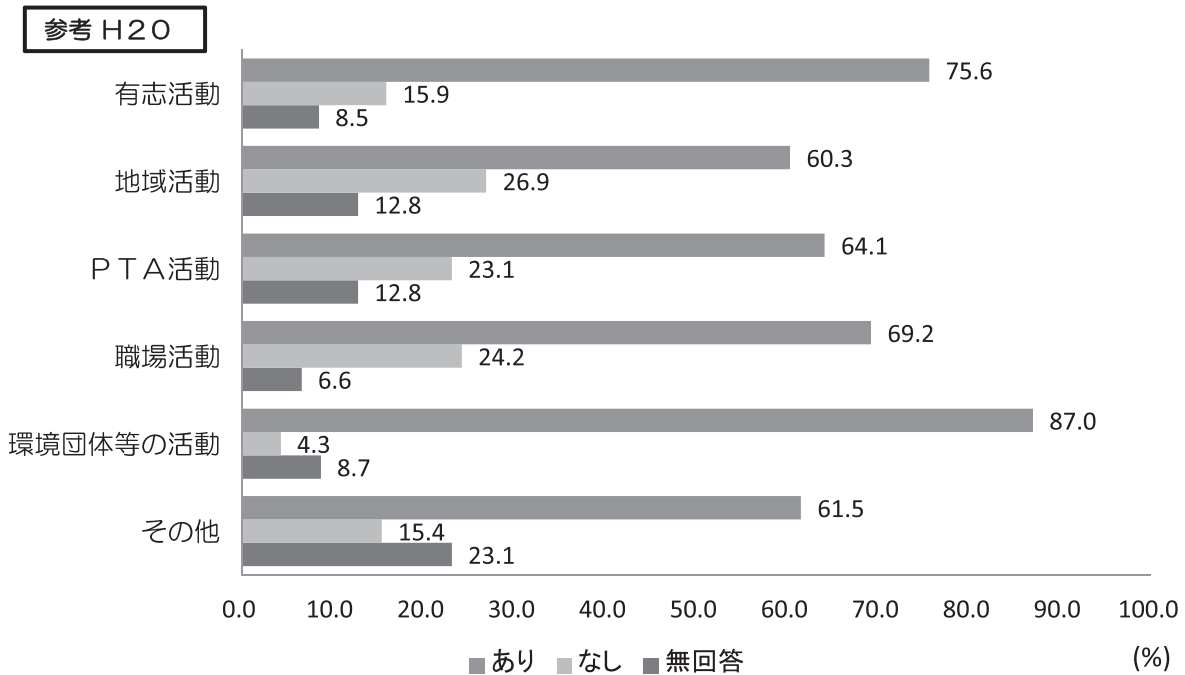
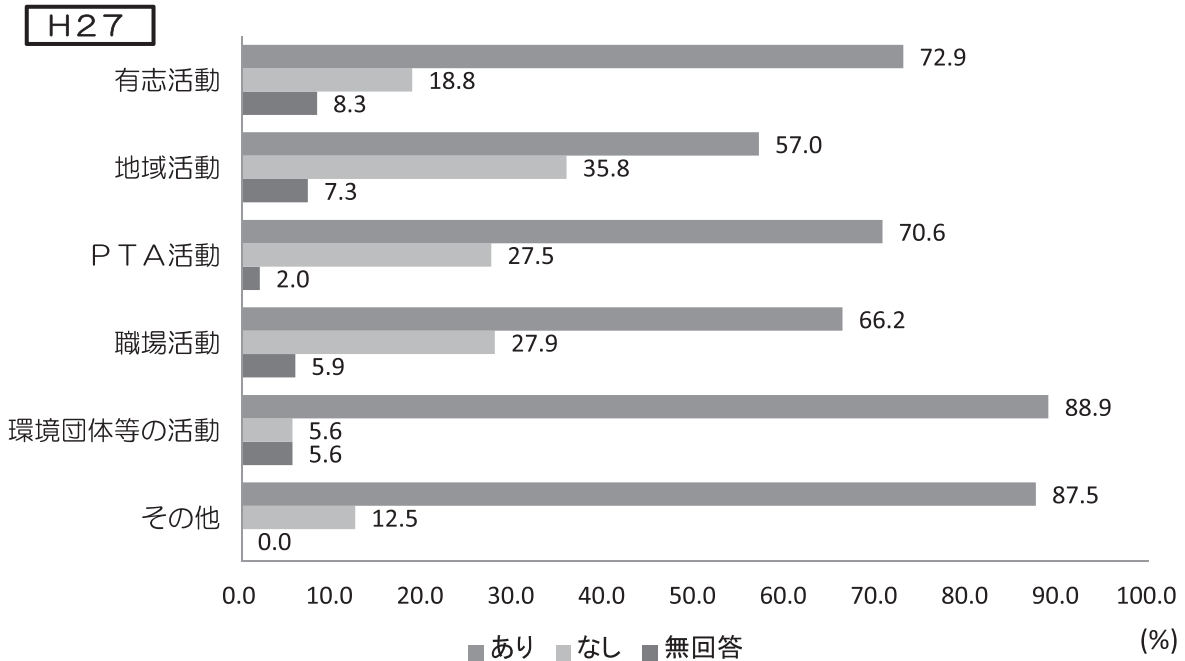
H27



<参考> H20

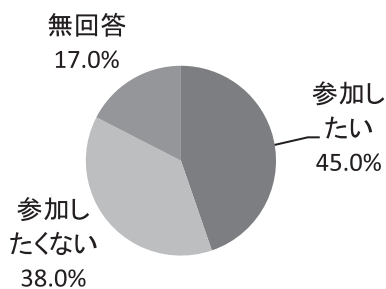
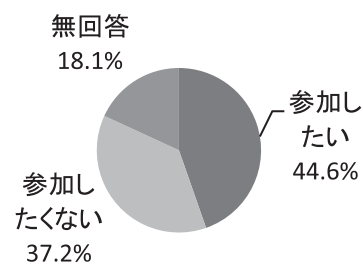


【参加状況ごとの他の活動への参加意向】



【⑤現在活動に参加していない人の今後の活動への参加意向】

H27

〈参考〉
H20

(4)環境にやさしいまちづくりを進めるための市民、事業所、行政の役割

[問]環境にやさしいまちづくりを進めるためには、市民、事業所、行政がそれぞれの役割を担い、かつ連携していくことが必要だといわれていますが、あなたはそれぞれの役割としてどのようなことが重要であると思われますか。

【市民の役割】

- ◆市民の役割としては、「新聞やダンボールなど、古紙を分別しリサイクルを行う」が82.2%と最も多く、次いで「節電や節水など、省エネ型の生活をする」(79.3%)、「できるだけごみのでない生活を心がける」(75.1%)となっています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ「できるだけ自動車を使わない生活を心がける」が前回42.9%から今回25.7%と減少しています。

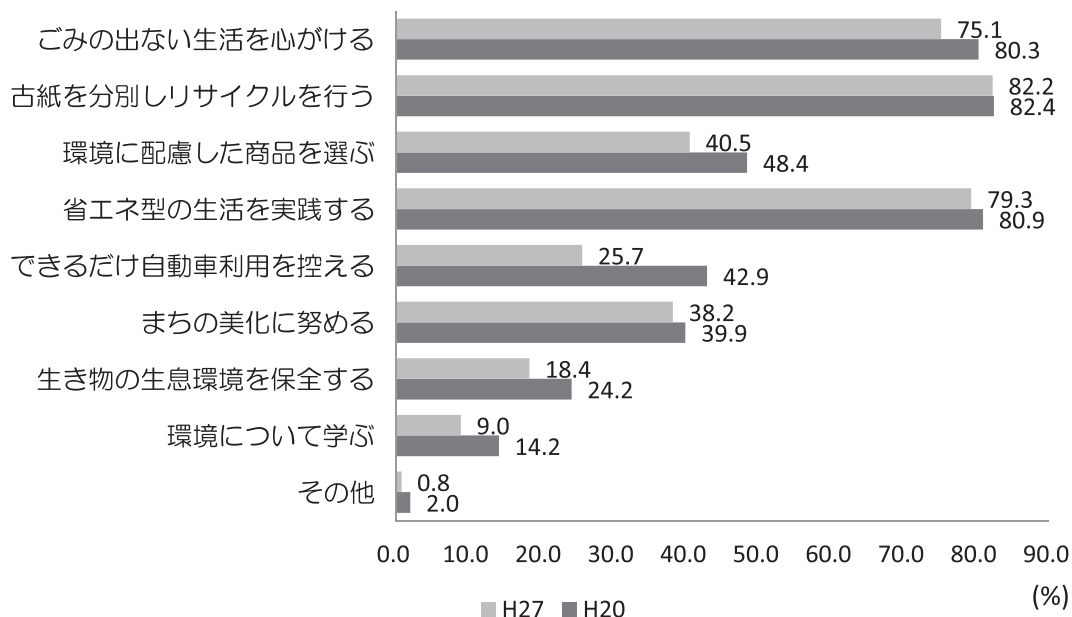
【事業所の役割】

- ◆事業所の役割としては、「省エネルギー対策や熱の有効利用など、地球温暖化対策を推進する」が57.0%と最も多く、次いで「環境に配慮した製品や技術を研究・開発する」(51.9%)、「3Rの取り組みを推進する」(45.3%)となっています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ、大きな変化は見られません。

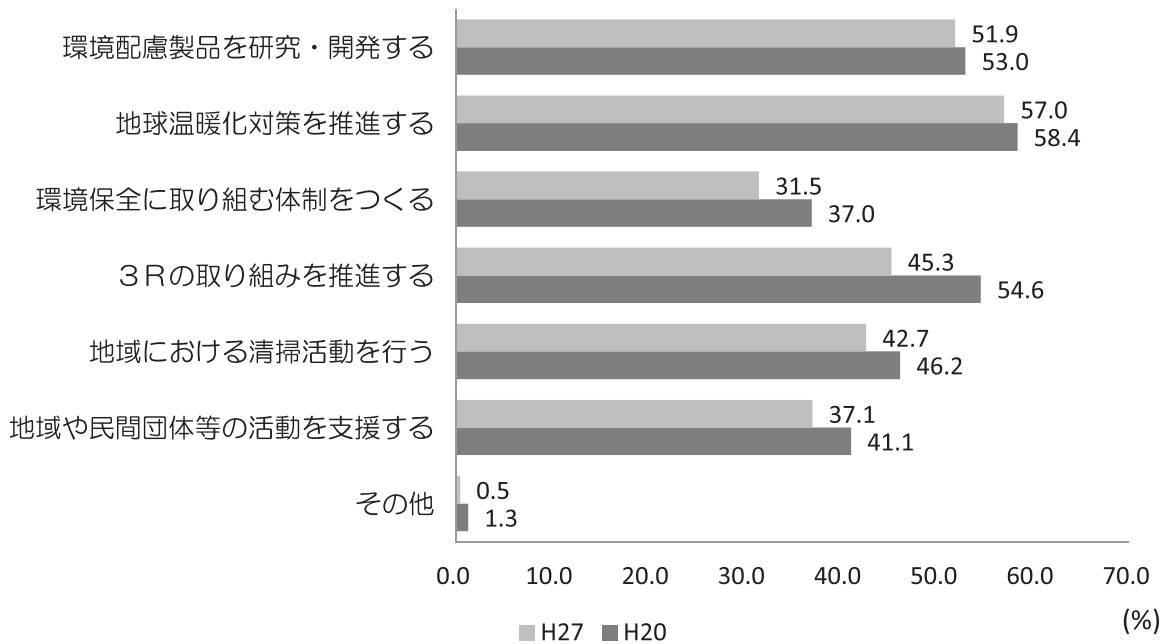
【行政の役割】

- ◆行政の役割としては「大気汚染や水質汚濁などの公害対策を強化する」が57.3%と最も多く、次いで「3Rの取り組みを推進する」(53.5%)、「事業所の環境に配慮した活動を支援する(税金、資金面)」(47.6%)となっています。
- ◆平成20年度アンケート結果と比べ「温室効果ガス(CO₂等)の排出抑制など、地球温暖化対策を推進する」が前回49.5%から今回36.9%と減少しています。

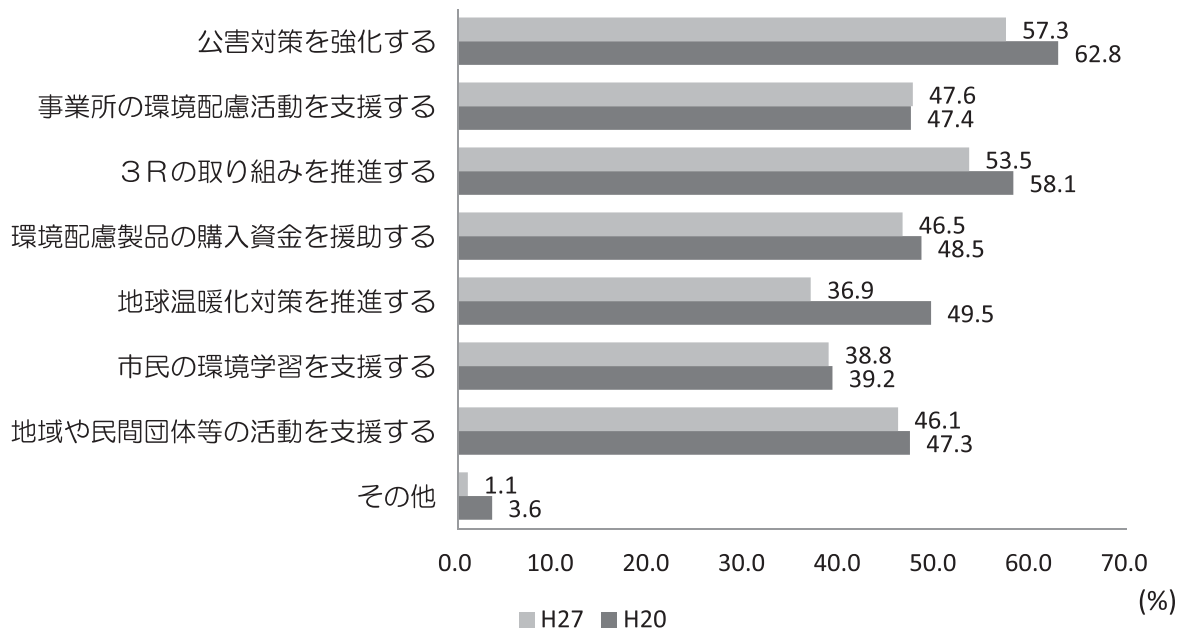
【市民の役割】<複数回答>



【事業所の役割】＜複数回答＞



【行政の役割】＜複数回答＞



(5)環境に関する行政施策について

[問]あなたは、舞鶴市の環境に関する行政施策としてどのようなことが重要だと思われますか。それぞれの重要度をお答え下さい。また、その取り組みについて満足度をお答え下さい。

※比較のため、各回答人数に各回答の重要度により点数を乗じ、次のような方法で評価点を算定した。より2に近いほど重要度が高いこととなる。
なお、評価方法は平成20年度アンケートと同じ方法とした。

$$\text{評価点} = \frac{\text{「重要」と回答した人数} \times 2 \text{点} + \text{「やや重要」と回答した人数} \times 1 \text{点} + \text{「重要でない」と回答した人数} \times 0 \text{点}}{\text{有効回答数 (総数 - 無回答の人数 - 「わからない」と回答した人数)}}$$

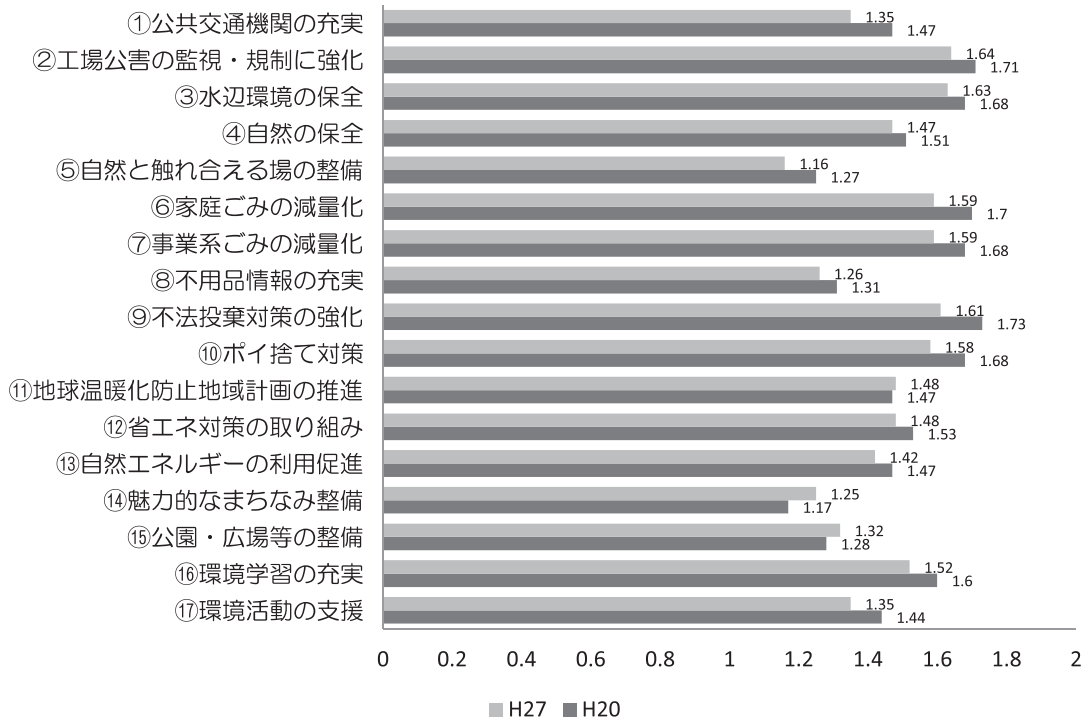
【重要度】

- ◆ 評価点が高かった項目については、以下のとおり
 - ②工場の大気汚染、騒音、悪臭等の監視・規制の強化 1.64
 - ③海や川等の水辺環境の保全 1.63
 - ⑨不法投棄対策の強化 1.61
- ◆ 評価点が低かった項目については、以下のとおり
 - ⑤ハイキングコースや親水空間等の自然とふれあえる場の整備 1.16
 - ⑭歴史資源や花と緑を活用した魅力的なまちなみ整備 1.25
 - ⑧不用品の情報や再生品の展示・提供の充実 1.26
- ◆ 平成20年度アンケート結果と比べ、評価点があがった項目は以下のとおり
 - ⑪地球温暖化防止地域計画に基づく取り組みの推進
 - ⑭歴史資源や花と緑を活用した魅力的なまちなみ整備
 - ⑮公園・広場や街路樹の整備

【満足度】

- ◆ 満足度が高かった（「大変満足」「まあまあ満足」の合計値）項目については以下のとおり
 - ⑥家庭ごみの減量化・分別収集の促進 61.0%
 - ⑮公園・広場や街路樹の整備 43.6%
 - ⑭歴史資源や花と緑を活用した魅力的なまちなみ整備 41.2%
- ◆ 満足度が低かった項目（「やや不満」「大変不満」の合計値）については以下のとおり
 - ①自動車利用を抑制するための公共交通機関の充実 47.6%
 - ⑩ポイ捨て、たばこの投げ捨て対策 43.6%
 - ⑨不法投棄対策の強化（パトロールの実施や監視カメラの設置） 37.4%

【重要度】



【満足度】

